

慢性細菌性周炎とは

- 中年期以降に多い一般的な歯周病(慢性歯周炎)とは異なり、早ければ胎児期や小児期から発症することがあり、進行が速いことが特徴。
- 慢性細菌性歯周炎は、過去にはその発症年齢により、老年性歯周炎とも呼ばれていた。
- 家族性に発症することが多く、遺伝的な関与が示唆されている。



口腔粘膜障害発生メカニズム

